

小児からの臓器提供に関する作業班について

1. これまでの経緯

平成28年6月29日に開催された第44回厚生科学審議会疾病対策部会臓器移植委員会において「最近の臓器移植の実施状況等について」の検討がなされた際、小児からの臓器提供者数は移植希望待機者数と比べ少ない状況であり、小児からの提供が進まない現状等について議論された。

その結果、小児における臓器提供の現状把握と、その課題及びその解決策を考えるために作業班を開催することを臓器移植委員会より、提案があった。

- ・日本における臓器提供者数の推移と小児の移植希望待機者数（参考資料1）
- ・18歳未満の脳死下での臓器提供事例（参考資料2-1）
- ・「改正臓器移植法施行から5年」（抜粋）
（（公社）日本臓器移植ネットワークHP公表資料）（参考資料2-2）

2. 小児の臓器提供に関する現状と現在の取り組みについて

（1）普及・啓発について

- 移植医療についての国民の理解について

平成25年の内閣府調査においても、また平成28年8月に（公社）日本臓器移植ネットワークが行ったアンケート調査においても「臓器移植」は認知されてきている。

- ・臓器提供の意思表示に関する意識調査
（平成28年（公社）日本臓器移植ネットワーク実施）（参考資料3）

<現在の取り組み>

- ・全国中学校3年生向けパンフレットの配布
- ・運転免許証や健康保険証の裏面への意思表示
- ・臓器移植の普及推進について（参考資料4）

(2) 臓器の提供施設における環境整備について

- ① 脳死判定に係る体制整備の充実について
- ② 臓器提供時における院内業務負担の軽減について
- ③ 臓器を提供することによる経済的負担の軽減について

<現在の取り組み>

- ・(公社)日本臓器移植ネットワークを通じた体制整備事業(地域支援事業、院内体制整備事業、5類型施設研修会、技術研修会)を行っている。(参考資料5)
- ・厚生労働省科学研究費研究班にて実際の経済状況等について調査を行っている。

(3) 移植希望者(レシピエント)選択基準について

- 小児ドナーからの臓器提供時における小児レシピエントの臓器移植について

<現在の取り組み>

- ・平成27年7月の臓器移植委員会にて、心臓の小児レシピエントについて変更することを決定(平成27年12月より運用開始)。
- ・平成28年10月の臓器移植委員会にて、肝臓・腎臓について変更することを決定(実施時期未定)。(参考資料6)

(4) 虐待への対応について

- 臓器提供時の具体的な虐待の除外方法の確立について
これまで虐待児童の臓器提供に関して、臓器提供施設マニュアル(平成22年度科学研究費)で除外方法や院内体制整備をマニュアル化し、また、臓器提供に係る質疑応答集(平成27年9月事務連絡)にて周知している。(参考資料7、8)

(5) その他